

鷹揚郷腎研究所弘前病院で診療を受けられた患者様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします

研究課題名： 血液透析患者における下腿周囲長と筋肉量、栄養評価に関する検討

研究の目的

入院基本料に標準的な栄養評価が追加されるようになり、筋肉量の評価が必要になります。筋肉量評価の簡易的な方法として下腿周囲長（ふくらはぎの太さ）を測定する方法が推奨されていますが、血液透析患者さんの基準値は示されていません。血液透析患者さんでは水分量によるむくみの影響も懸念され、独自の基準値が必要になることも考えられます。

本研究では、血液透析患者さんを対象に下腿周囲長を測定し、体水分測定時に測定される体水分量、骨格筋量、血液データから算出する栄養評価を検討し、血液透析患者さんでの筋肉量低下を示す下腿周囲長の基準値を決定するところを目的とします。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2027年 12月 31日

対象となる方： 鷹揚郷腎研究所弘前病院で血液透析療法を受けている患者さんで、体水分測定のためのインボディ測定の指示がでた患者さんです。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

血液透析時に寝たままの状態の下腿周囲長（ふくらはぎの太さ）をメジャーにて左右2回ずつ測定します。当院のカルテに記録されている情報、血液データ情報、インボディ測定の結果から骨格筋量、むくみの指標となる細胞外水分比、下肢の筋肉量、水分量の情報を利用します。

下腿周囲長は臥位で測定するため、患者さんに痛みや負担が発生することはありません。また、通常の診療で必要な検査・測定された結果を用いて研究しますので、患者さんに新たな侵襲や負担が生じることはありません。

なお、本研究データの利用にあたっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報は削除し、匿名化して行います。また、本文書により情報を公開し、拒否機会を保障します。

研究成果については学会発表や論文投稿の方法で公開されますが、その内容から個人が特定されることはありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	鷹揚郷腎研究所弘前病院 リハビリ治療部 理学療法士 川崎 忍 電話 0172-87-1221 内線 4412
--------------	---